

令和4年度第1回総合計画等推進市民委員会（R4.5.23開催）において、委員からいただきました意見に対し、回答するものです。

【委員意見】LINEを活用した情報発信について、登録者数の実績についても記載したほうがよいのではないか。

①第2期八戸市まち・ひと・しごと総合戦略に対する意見

令和4年4月30日現在

区分	基本目標	展開する施策	意見 No.	意見の内容 (議事録より抜粋)	意見の概要	担当課	対応区分	対応状況 (対応・検討の内容)
個別意見	基本目標 2 新しいひとの流れをつくる	【施策1】移住・人材還流・若者定着の促進						
		①移住・UIJターンの促進	3	・移住・定住の促進について、高校卒業時にSNSやアプリなどを登録してもらい、継続して八戸市の情報を発信できるような仕組みがあるとよいのではないか。 ・若手の経営者の人たちが市から少しお金をもらって、インターンシップとして大学生を受入れて仕事を实际にしてもらうことで、大学卒業後に地元に戻り、就職することにつながるのではと思う。また、市から少しお金をもらって、奨学金を会社のほうで払ってくれるなどの方法もあると思う。【議事録P18～19】	移住・定住の促進に関する事業について	広報統計課	①対応済	令和2年度より、LINEを活用し情報発信を行っている「八戸都市圏ファンクラブ『スクラム8』」への登録を促すポストカードを作成し、八戸都市圏内の高校・大学・専門学校の卒業生への配布を行っております。 また、八戸市成人式において、参加者に配布される次第にも「八戸都市圏ファンクラブ『スクラム8』」の広告を掲載し登録を促しております。 【スクラム8 LINEの登録者数の推移】（各年度末の登録者数） H30年度 559 R1年度 1,270 R2年度 1,915 R3年度 2,731 R4.5月末時点 2,835
		②高等教育機関等との連携や若者の地元定着の促進				産業労政課	①対応済	圏域内事業所の県内外への情報発信等の強化により、事業所の認知度や採用力向上のため、セミナー等を実施しています。 ・対応内容 令和3年度 地元企業人材確保支援事業 「情報発信力強化・採用力向上オンラインセミナー」 （令和4年2月実施 [全2回]） 【対応事業：地域事業所人材獲得等支援事業】
						学校教育課	④検討中	県では、令和4年度より、若者の県内定着を促進するため、学生支援機構と県育英奨学金の返還を支援する「あおり若者定着奨学金返還支援制度※」を実施しています。市教育委員会では、学生支援の観点から給付型奨学金の充実が望ましいと考えていることから、市奨学金のあり方について研究して参ります。 ※県内企業等に就職する新卒・既卒者を対象に、最大150万円の返還支援（県1/2、企業1/2 負担）
【施策2】地元とのつながりの拡大								
		①地域の魅力の情報発信の充実						
		②「関係人口」の創出・拡大						
		③当市を応援する企業との連携						